

目次

「あいさつ」…………… 2

「近世絵画史のなかの幽峨」 門脇むつみ…………… 4

「父公の絵師 根本幽峨」 山下真由美…………… 10

「概説 根本幽峨」 山田修平…………… 16

図版

序章 「黄金時代」の余韻…………… 27

第1章 江戸に上る重三郎…………… 31

第2章 幕末と開花期の幽峨…………… 49

第3章 鳥取藩絵師根本幽峨…………… 81

コラム 「幕末の鳥取藩絵師たち」 大島陽一…………… 82

第4章 時代を繋ぐ幽峨…………… 113

【参考文献（売立目録）】…………… 127

【参考図版】…………… 129

【作家解説】…………… 132

【印章集】…………… 138

【落款の変遷】…………… 142

【作品詳細】…………… 149

「根本雪峨家譜」（資料抜粋翻刻）…………… 164

年譜…………… 167

主要参考文献…………… 176

Summary…………… 183

Foreword…………… 183

凡例

- ・ 本書は鳥取県立博物館令和5年度企画展「生涯200年 根本幽峨―近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華―」の展覧会図録である。
- ・ 本書の図版番号は展示作品番号に一致するが、展示順序はこの通りではない。また、会期中に一部展示替えを行うため、掲載作品が展示されていない場合がある。
- ・ 図版には、作品番号・作者名・制作年・所蔵者名を付している。
- ・ 作品詳細には右に加えて、材質技法・貝数・法量を示している。法量（寸法）は、縦×横で表し、単位はセンチメートルである。また、根本幽峨の作品には、款記・落款の読みと印章の番号、写真を示した。なお、印章の番号は本誌「印章集」の番号に合致する。
- ・ 論文、コラムの執筆者は別に記した。
- ・ 本誌図版の解説、および巻末「作家紹介」は山田修平（鳥取県立博物館美術振興課）が執筆した。また、印章の翻刻には大島陽一（鳥取県立博物館学芸課）の協力を得た。
- ・ 巻末「根本雪峨家譜」の翻刻、および、年譜の作成には来見田博基（鳥取県立博物館学芸課）・大島陽一の協力を得た。
- ・ 展覧会の企画・および図録の編集は、山田修平が担当した。